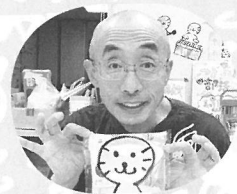


出会いはタカラモノ

子どもから教えられたことばかり

第5回 学校が「イヤ」だから行かない？



佐藤比呂二

さとう ひろじ／東京都生まれ。特別支援学校教員。編著書に『ホントのねがいをつかむー自閉症児を育む実践』（全障研出版部）など。

不登校の始まり

私の担当学年の2年下に気になる子がいました。満太郎君（中1、知的障害）です。彼は、中学1年の2学期、朝のスクールバスを待っているとき、突然「いやだ！」と叫び家に走り帰りました。そして、この日から不登校の日々が始まりました。

ゲームやアニメが大好き。好奇心旺盛で、小学部のときは、姿が見えないと誰もいない教室に入り込みブロックやおもちゃで一人遊びに熱中していることもありました。

不登校になってからは家で布団をかぶりひたすらテレビゲームに明け暮れる日が続く、母親も困り感を募らせていきました。担任は満太郎君が好きなキャラクターを使った教材を手作りして家庭訪問をおこない登校を促しましたが、本人は頑として学校には来ませんでした。

同僚の声が聞こえてきました。

私はすぐに追いかけてきました。すると、校門からほど近い交差点の手前で座っている満太郎君とママの姿がありました。登校を渋る満太郎君をなんとかタクシーに乗せてきてくれたのですが、校門の前から猛スピードで逃げ出したのです。母に付き添われ座っている満太郎君の表情は硬く、強い警戒心を感じました。

私は、そんな満太郎君の前で黙って手品をやり始めてみました。空の手から次々に現れる赤いボールを見てニッコリと表情がゆるみました。

続いて、あらかじめ考えておいた活動への誘いです。今日は学年みんなで近くの公園に行く予定だったので、合流できたらいいなと思い、宝探しならぬ「ウルトラマン探し」を準備しました。前日にウルトラマンの指人形を公園の植え込みに埋め、その場所を示す地図を作っておきました。

手品の後、ポケットからウルトラマンの指人形が登場すると身を乗り出して見始めました。ウルトラマンが悪者に埋められてしまう私の一人芝居に興味津々です。居場所を示す地図を私から奪い取ると熱心に見入っています。ここまでは順調でした。しかし、「じゃあ、一緒に探しに行こうか」と誘うと「ちがう！」と拒否。今まで喜んで見ていた地図も人形も返してきます。（なにかやらせようとしている）というこちらの下心を敏感に感じ取ったのでしょう。

ママから離れるのはむずかしいかなと思いましたが、満太郎君がコンビニの方へスタスタと歩き出した隙に「お母さ

先が見えないなか、2年生に進級する際、私は「担任させてください」と自ら手を挙げました。自信があったわけではありません。不登校児とかかわったこともなく、むしろ、どうなるかまったくわからない気持ちが強かったです。それでも手を挙げたのは、以前は楽しそうに登校していた満太郎君が今どんな思いでいるのか、かかわってみたくなったからです。そう思えたのは、シユン君やソウちゃんから「問題行動と見られてしまう姿のなかにこそ、ホントのねがいがいる」ことを教えてもらったからかもしれません。

とりあえず興味のあるもので誘ってみよう

始業式。満太郎君との出会いの日です。

（果たして、学校に来てくれるのか？）そんな期待と不安の入り交じった気持ちで待っていた私の耳に「佐藤先生！満太郎君来た！でも今、玄関から逃げていった！」という

ん、大丈夫ですから。後は任せてお帰りください」と帰ってもしらいました。気づいた満太郎君が「ママ」と振り返りましたが、「あっちじゃない？」と反対方向へ。しばらく歩いてママの姿がないとあきらめたのか、気持ちは一気にウルトラマン探しに傾きました。地図を握りしめずんずん歩いていきます。私の言うことなど聞きません。好きな方へ進み、公園を見つかるたびに「ここじゃない、次」「ここでもない、次」といくつもの公園をはしごしていきます。果たしてたどり着けるのかと思っていたら、1時間以上かけてみんながいる目的の公園を見つけ、ウルトラマンを掘り出して満面の笑顔でした。ただ、友だちとかかわることは一切ありませんでした。

「目に見える結果」よりも「子どもの心に残るもの」が大事

満足して「お家帰ろうね」という満太郎君に「スクールバスで帰ろうか」と誘ってみると「タクシー」との返事。

「お金無いから」と言うとお母さん、お迎え」

「電話して大丈夫なお母さんのお迎えね。駄目なら先生も一緒に乗るからスクールバスで帰ろうか」

「うん」

ママに電話し、わざとお迎えはできないというやりとりを聞かせた上で、あらためて「お迎え来られないって。じゃあ、スクールバスで帰ろうか」と言うとお母さん「うん」と返事をしたのですが…。

いざ、学校に戻ってみると、門から飛び出し走って逃げました。（乗りたくない）と全身で表現しています。